

春 蘭

発行日：令和6年11月26日

発行責任者：安藤 靖



岩根小ホームページ

学校教育目標：夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く

「誰かのために何かをしたい」「みんなでその夢叶えよう」

「私のクラスの学級会」

本宮市青少年健全育成推進大会「少年の主張」

11月23日(土)、サンライズもとみやに於いて「第18回本宮市青少年健全育成大会」が開催されました。大会第1部の「少年の主張」では、本校6年生の代表児童が「私のクラスの学級会」と題して、自分達の学級会の実践を発表しました。

岩根小学校の合い言葉「たい・よう」を叶えるために、各学級で行われている学級会の様子が伝わる、素晴らしいスピーチでした。ここに、全文をご紹介します。



「少年の主張」をステージで堂々とスピーチする代表児童



私のクラスの学級会

本宮市立岩根小学校六年 代表児童

『実現力』

これが私のクラス、六年二組の合言葉である。実現力とは、学級会(話し合い活動)で決まったことを、みんなで実現させていくということだ。学級だけでなく、学校全体を盛り上げていくという意味も込められている。

私のクラスの自慢は学級会だ。去年から私達のクラスでは学級会を重ね、大事にしている。去年だけでも十一回の学級会を行った。

では、私達の学級会を紹介しよう。私達の学級会には、たくさんの工夫がある。

『座席はコの字』

学級会を行うときの座席の型は、カタカナのコの字で行っている。これは、どこからでも友達顔を見て話を聞くことができるようにするためである。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、マスクをしている友達が多い。私もその一人だ。以前、いつもの様にコの字にして学級会を行ったが、友達の声が聞き取れないにも関わらず、話し合いがどんどん進んでしまったことがあった。結果、話し合いがまとまらず、途中でチャイムが鳴った。そこで、私達は考えた。

「もっとコの字型を近づけて、友達の声をしっかり聞こうよ。」

反省を生かし、今までよりも席を近づけてみた。すると友達の声だけでなく、表情まで読み取れるようになった。私達の学級会の座席の工夫は、友達の意見をよく聞くために欠かせないものだ。

『みんなの考えを知る短冊』

議題が決まると、私達は事前に自分の考えを短冊に書き、学級会コーナーに掲示している。一人一人に短冊がある。この短冊はホワイトボード用のペンで書くことができ、裏にはマグネットが付いている。

学級会コーナーにみんなの考えが書かれた短冊を掲示しているのので、学級会前に友達の考えを知ることができる。もちろん、自分の考えを知ってもらうことにもつながる。友達の考えを知っているからこそ、学級会では意見を「比べ合う」段階から始めることができるのだ。

裏にマグネットが付いている良さは、話し合いが始まってから発揮される。友達から出された質問や意見に合わせて、黒板記録の友達が短冊を動かしたり、グループ分けしたりする。みんなの意見を見やすく、まとめることができるのだ。

『一人の意見も捨てない』

意見をまとめる中で、短冊が一枚残っていることに気付くと、どうにかして少数の意見を生かせないかと私達は必死に考える。その人の意見を捨ててしまえば、その考えが無駄になってしまう。無駄な考えなんてない。私達は必ずみんなの意見や考えを使えるようにしている。

『ぴたっと合体』

一人の意見も捨てない合言葉が、この「ぴたっと合体」である。これは、みんなから出てきた意見を合体させ、生かそうとする考え方だ。担任の先生は、この考え方を「折り合いをつける」と教えてくれた。しかし、いつもうまくいくわけではない。そういうときは、「係活動で扱ってみよう」「次の議題のときにつなげてみよう」と、少数意見を生かそうとする意見が出てくる。考えを捨てないのだ。

私にとって学級会とは、自分と学級を成長させるものだと思う。休み時間は仲のよい友達と話す「会話」だとすると、学級会は六年二組のみんなと話す「対話」だと思う。みんなと話合うことで今まで思いつかなかった新たな考えが生まれる。その考えをみんなて実現させることができる六年二組。実現できるたびに、学級会をやってよかったと思う。

卒業まで、あと半年ほどだが、もっともっとみんなと学級会をやっていきたい。

私のクラスの学級会は、自慢できるのだ。



「学級会」は岩根小学校を支える大黒柱

「誰かのために何かをしたい・みんなでその夢叶えよう」を実現させる学級会の時間

代表児童の発表にあるように、岩根小学校の学級会は学校全体を盛り上げ、子ども達がみんなのこと・学校全体のことを考える時間になっています。言い換えれば、学級会は岩根小学校の「よさ」を支える大黒柱です。秋になり、校庭にはたくさんの枯れ葉が毎日のように積もります。先日の奉仕作業で保護者の方がきれいにしてくれたことや用務員さんが一生懸命にきれいにしてくださっていることを受けた4年生の子ども達は、自分達でできることを考え、話し合い、自主的に校庭の落ち葉拾いに取り組みました。そして今朝は、昇降口の清掃とあいさつ運動へと発展しています。これも「たいよう」を実現させる学級会の力です。

